



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/saigaways/>

国際会長主題 「ともに、光の中を歩もう」 “Let Us Walk in the Light - Together”
アジア太平洋地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」 “Respect Y's Movement”
西日本区理事主題 「2022年に向けて“心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ”
“Healthy mind & healthy body make healthy club”

中部部長主題 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春」

金沢犀川クラブ会長主題 「ワイズの輪を広げよう！」

会長：北 肇夫, 副会長・会計：澤瀬 諭, 書記・直前会長：平口哲夫

今月の聖句 イエスは苦難を受けた後、ご自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。

新共同訳聖書 使徒言行録 1章3節

2018年3月強調月間

JWF

JWFは皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします！
森本榮三 JWF 管理委員長 (大阪高槻クラブ)

☆☆☆ 3月第一例会案内☆☆☆

～中部部長公式クラブ訪問特別例会～

日 時：3月8日(木)19:00～21:00
会 場：ホテル金沢(金沢市堀川新町1-1)
会 費：3,500円(食費を含む)
準 備：平口ワイズ

プログラム

司 会 : 竹中ワイズ
開会・点鐘 : 北会長
ワイズソング : 一同
今月の聖句 : 司会者
ゲスト紹介 : 司会者
中部部長挨拶 : 山内ミハル(金沢クラブ)
今月のハッピーバスデイ : 北会長
北(26日)
食前の感謝 : 三谷ワイズ

—— 会食 ——

卓話 「睡眠～ぐっすり眠って、すっきり目覚めのために～」中島素子氏(金沢医大看護学部教授)
事業委員会報告 : 各委員長
閉会点鐘 : 北会長

*例会に使用済み切手、アル缶、ウエス用布製品をご持参下さい。

☆☆☆ 2月例会報告☆☆☆

【第一例会】2月15日(木)19:00～21:00、ホテル金沢、卓話「ギリシャ・南イタリア旅行体験談」、瀧平才治氏(元クラブ会員)、参加者/北・澤瀬・竹中・平口。【第二例会】本来第四木曜に開催するものだが、平口・三谷の都合がつかないため2月8日(木)に変更。しかし、この日も大雪の影響で開催不可となったため、Eメールでの相談結果を議事録に残すことにした。

名古屋クラブ70周年記念例会 3月4日13:00～16:30、アリス愛知、参加予定者：北。4月竹の子特別例会 4月30日(振休)、北陸学院三小牛キャンパス、金沢YMCA主催「たけのこ掘り体験」に参加。

今月の聖句について 『使徒言行録』は、1章1-2節によれば、『ゆによる福音書』の続編として書かれ、ペテロとパウロという二人の使徒の活躍を中心に描かれている。『福音書』にも『使徒言行録』にもイエスの「復活と昇天」がリアルな体験として記されている。しかし、イエスが復活して「生きている」というのは、生物学的に生き返り、生身の体で存在するということを意味しない。「イエスは生きている」とリアルに感じ取れる信仰が世々伝えられているのである。(平口)

4月の当番 準備/澤瀬、司会/平口

《金沢YMCAのホームページ》

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/>

当クラブ	2月出席者	1月出席率(正会員)	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 4名	正会員 4名	4÷4×100	前月繰越切手 3,675g	前月累計 15,590円
広義会員 0名	功労会員 0名		2月分切手 6g	2月 4,000円
功労会員 1名	メネット 0名	メーカーキャップ 0名	今年度累計	
	ビジター 0名		切手 3,681g	
	ゲスト 1名		現金 0円	
合計 5名	5名	100%		今期累計 19,590円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 2月第一例会報告 ◆

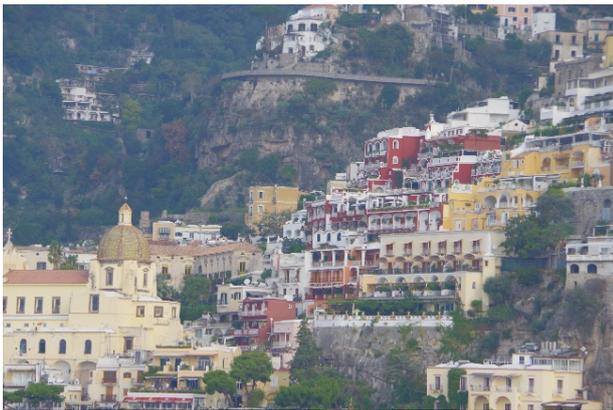
澤瀬 諭

当クラブの新春特別例会は2月11日(日・祝)、新春特別例会として深谷温泉・元湯石屋に一泊して開催の予定であった。ゲスト卓話者として元メンバーの瀧平才治氏をお迎えし、美味しい料理を堪能しながら卓話「ギリシャ・南イタリア旅行体験談」を拝聴する筈だった。ところが今年には例年になく大雪に見舞われ、予定を変更せざるを得なくなり、急遽2月15日(木)に通常例会の会場・ホテル金沢での開催となった。

「祈りの国、ギリシャ」と「南イタリア、ナポリ湾とアマルフィ海岸の休日」という二部構成による卓話は、各訪問地でお撮りになった多くの写真をパワーポイントで紹介しながら解説してくださったので、まるで私自身が体験したかのように楽しむことができた。瀧平氏は今後も、年に数回の海外旅行を計画されているようである。またの機会に続編を聞かせていただきたいと思います。



(ギリシャのアギア・トリアダ修道院)



(南イタリアのアマルフィ海岸)



(閉会点鐘後に撮った集合写真)

◆ ロシア・バルト海クルーズ体験記(10) ◆

平口 哲夫

2015年現地時間8月27日17:00、クルーズ船MSCオーケストラはドイツのキール港へ向けてヘルシンキ出港。夕食は二度目のフォーマルスタイルで、21:30からデッキ6/7のシアターでSAMURAIを鑑賞。忍者と、太平記に登場するような兜をかぶった武者と、中国王朝の貴婦人のような衣装をまとった女性など、奇妙な取り合わせのダンス・アクロバット・ミュージカルでした。



翌8月28日は終日航海、船内にて思い思いに過ごしました。下掲写真は自室でゴロ寝を撮ったもの。



21:30からデッキ6/7のシアターで鑑賞したダンス・アクロバット・ミュージカルはGOLDという題名、出演者は古代エジプト風の衣装をまとっていました。



現地時間8月29日8:00にキール入港。11:30~12:30、キールからハンブルクにバスで向かう途中、かつて岩塩採掘で栄えたリューネブルクのZUM ROTEN TOREという小さなレストラン兼ホテルで昼食。昼食後、リューネブルクを散策。下掲の写真は、アム・サンデ広場で撮ったもの。



散策後、14:30ハンブルクに向けて出発。18:15ハンブルク空港発TK-1664機でイスタンブールへ。イスタンブール着22:30。8月30日1:15(日本時間7:15)TK-0052機で帰国の途へ。日本時間18:30成田国際空港着。